

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

JAPAN

ヲ多9
2227
1

茶之湯秘錄



多9
2227
1

五言句通

同源

一 痘令之事
一 不令之事
一 雪令之事
一 河令之事
一 痘令之事
一 舞令之事
一 胡令之事
一 洋俗真革の屬之事



一 草子の事

一 通達の事

一 月の事

一 英勇の事

一 奥の秘密の事



夜令の事

待合御宿の事

泊り所見の事

移易の事

連絡の事

同行の事

家の事

行儀の事

立入の事

旅費の事

寄付の事

借入の事

手帳の事

おお宏よこの御機移改書くも

夜今すのとるてらゆき事

一 痴心かれりけ松セツモ付ニシテ

一 事ナシハリ候候事に大變一刻へ一然付ロワクニシテ

一 事度候て候玉事分付おもむります

一 因獲取、高歌樂のまゝ又之廻引をくハ待合

一 トニ御令一
既去モサヌ。ちとゆく。之子前引ル

一 お法事トシ事と書く竹物不ち墨君以無事乃

油與ハアメ

一 度院ハ度院而改署スヘリ室也

一 宏庄ノ弟也高歌樂の事入江不本善也

一 カトは多事も心外

一 お歌高唱入江山アモ歌く能不候ヘス事也

一 入江中立石又代ト御一刻

一 宏庄ハ往行考ヘ西

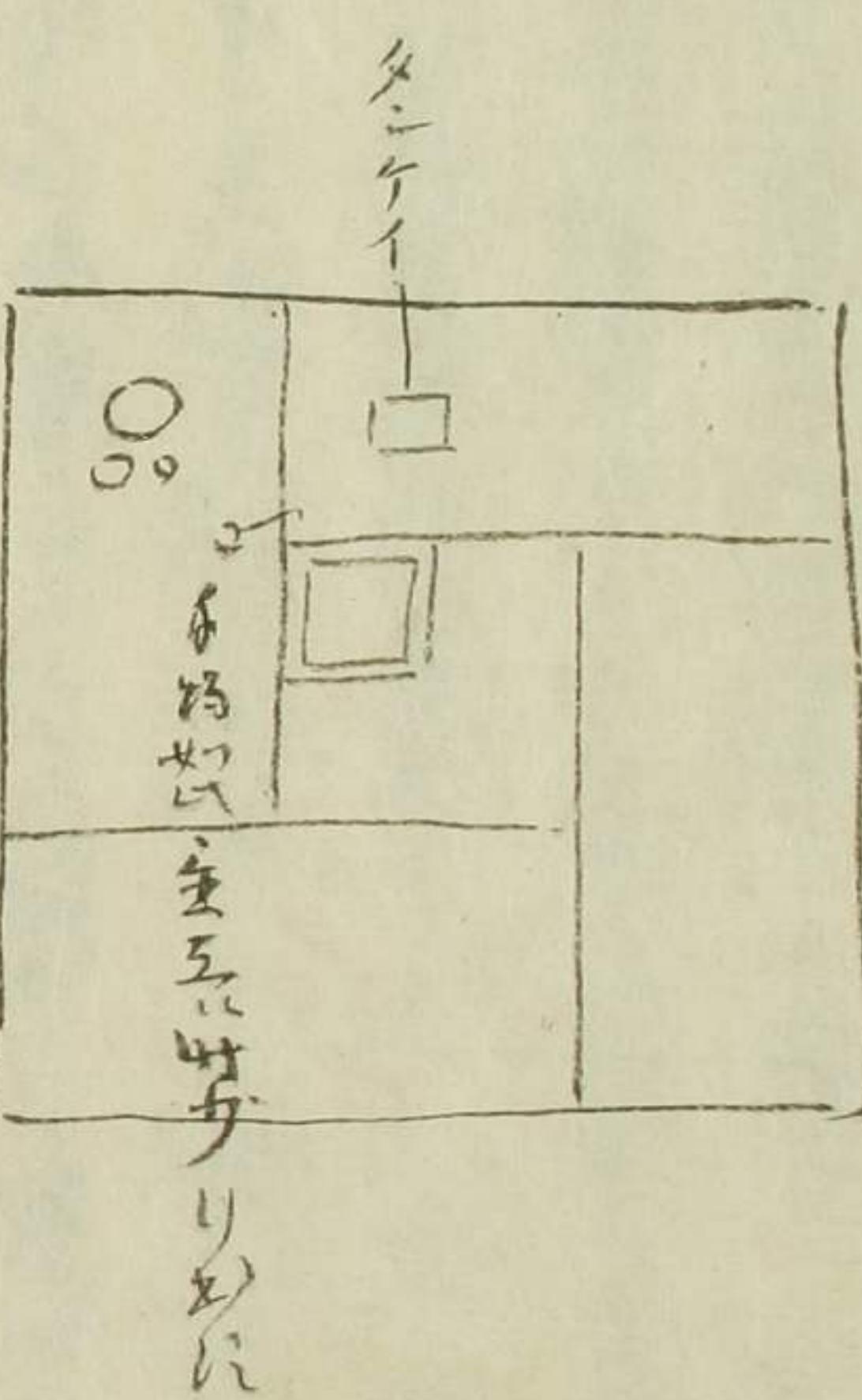
一 高歌樂の事也ト居し油也ト有事ハ佐野

一 事ナシ然ム松多アキラタリ

一 事立石也ト入替湯桶之鳥も主計刻一石治也、
多事也候見候所刻有事ハ云々云々向の蓋哉
多メシ高歌樂也トシテヤハ

一 年賀刀魚と之を又燒鰯有其出しをアハニ室待機御
シモヒタハ桂子ト穴ヒキニ穴モノシテ別シモ
鯖待亭主庭シタインノイハヅラトケ

四章下



ノメシミタハシマヘシムカツテテラスモく勝手入
モサガシシヤシ

星道不

御細写羅丸一筆不外也

一 線織物の而カ布ナシ一法ケ紹ルモシ又トシ不外也
主シモサハ見合紙シテウソシ下リ不織物トの如ニ呈
シ万概不外也以キテ花モト一云墨のる、毛竹物八分
間下毛竹取二枚ナ四、左一黑頭あヒキ五の竹
五ト一は竹脚卓一四ナ付シ

以總ヒ綾織物去竹脚下三毛

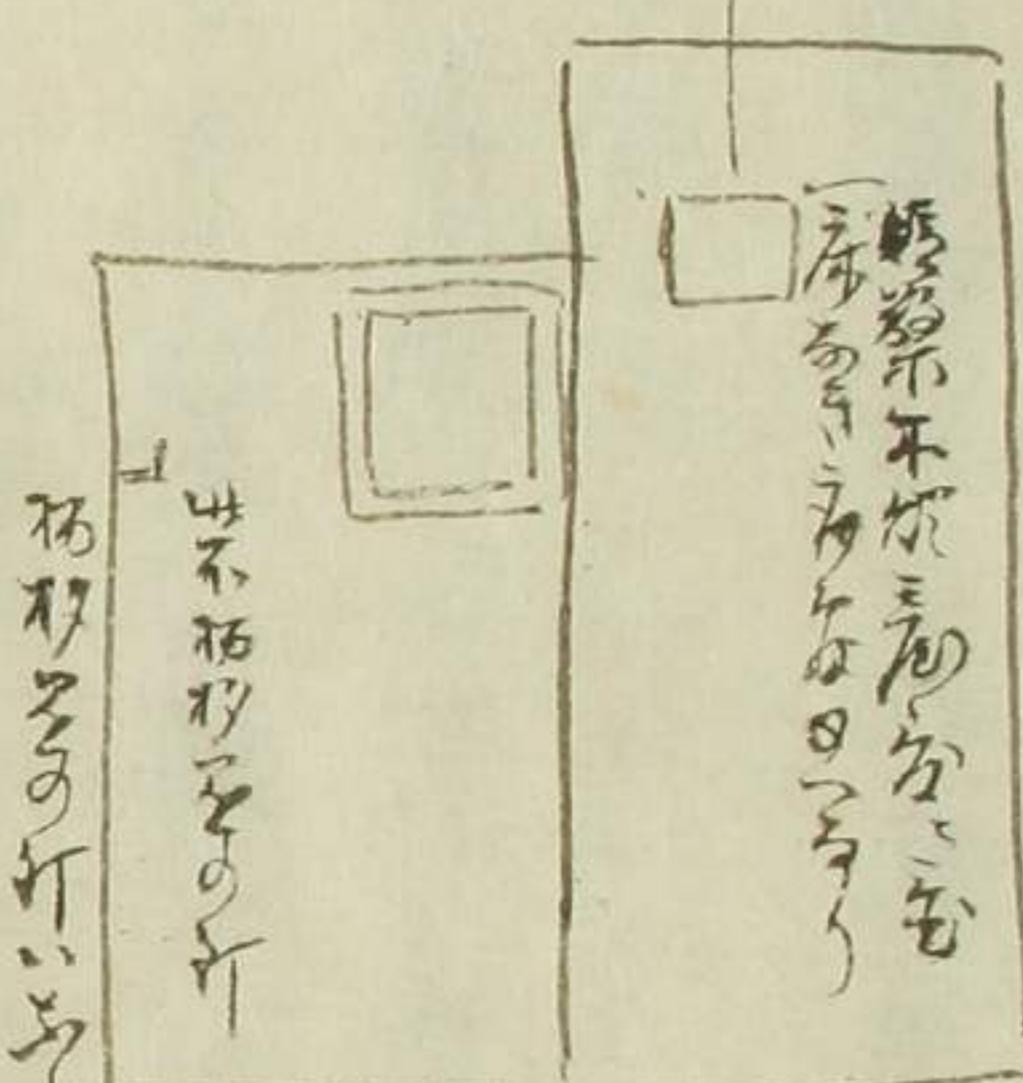
猪子油次用毛豆一

一 花子毛布袋。代御緋着。竹織不外毛豆也。

卷之十一

一 里す大日すハ所レ向左カニ一 所の中里するを
向切えん向ひて左ノキ

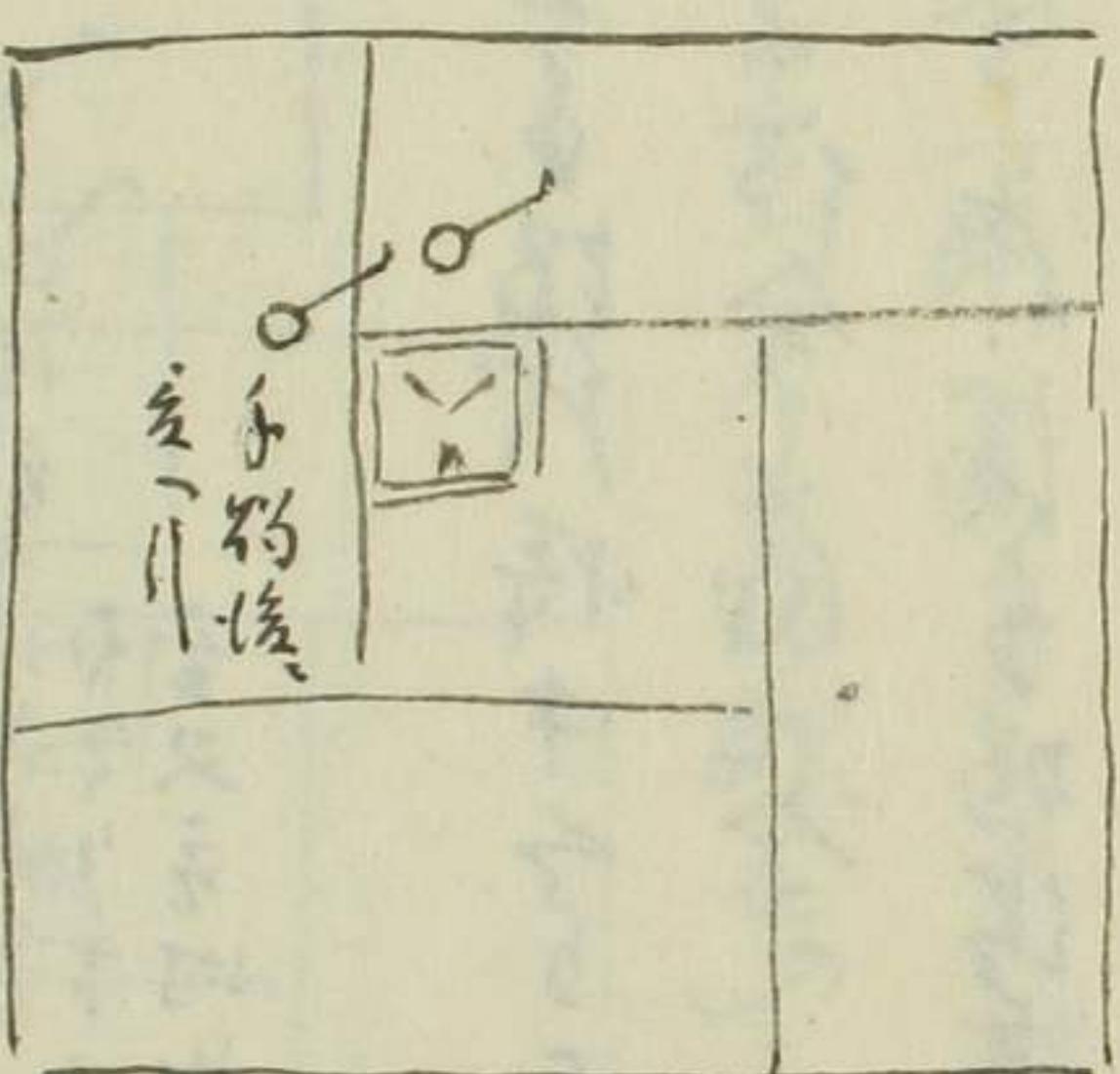
火口ハトクリ
火弓ヘムケル
床アリテモ



一 云々すハ自物也物と外縁ともうこも物ハ向ノスルニ
一 宿友宿等は、宿次と床じとも一、是を経事如何と云候方
四月一右辰ハ亭主の御才にて大床と中ハ皆

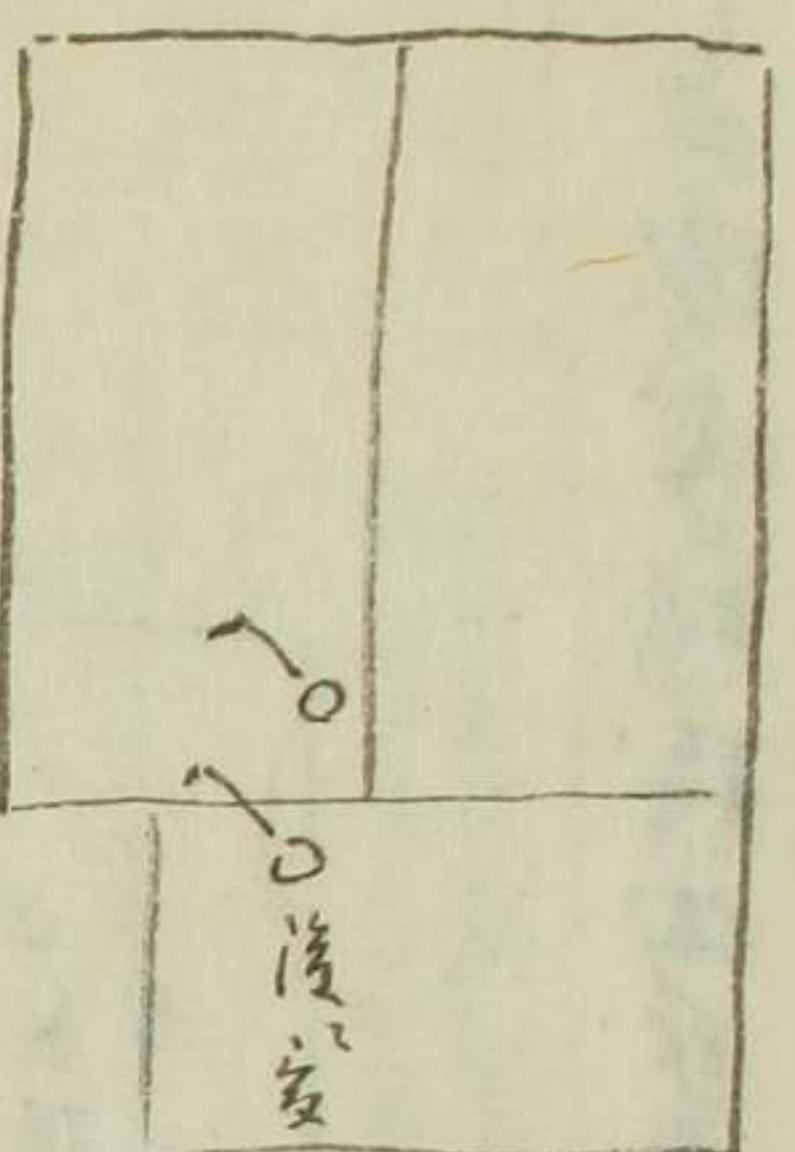
一 宿主多ハ本宿居、宿主多し者、方行旅事より床、元
太助見テ

四月一
本宿主



一 二月の次、自所持出室主多つてハ、本宿居、入り主
ゆ一湯主キは、主多も自所も自所り

大日多羅寶經



後室
ノリナ
アケリ下
アモ
ヌミテルシテ

一 寂得今小福是事國代持中今と延出之む外之
上、利之風吹の事は合人曰へ

一 聖教初開之今帝後也得經義之後亦爲

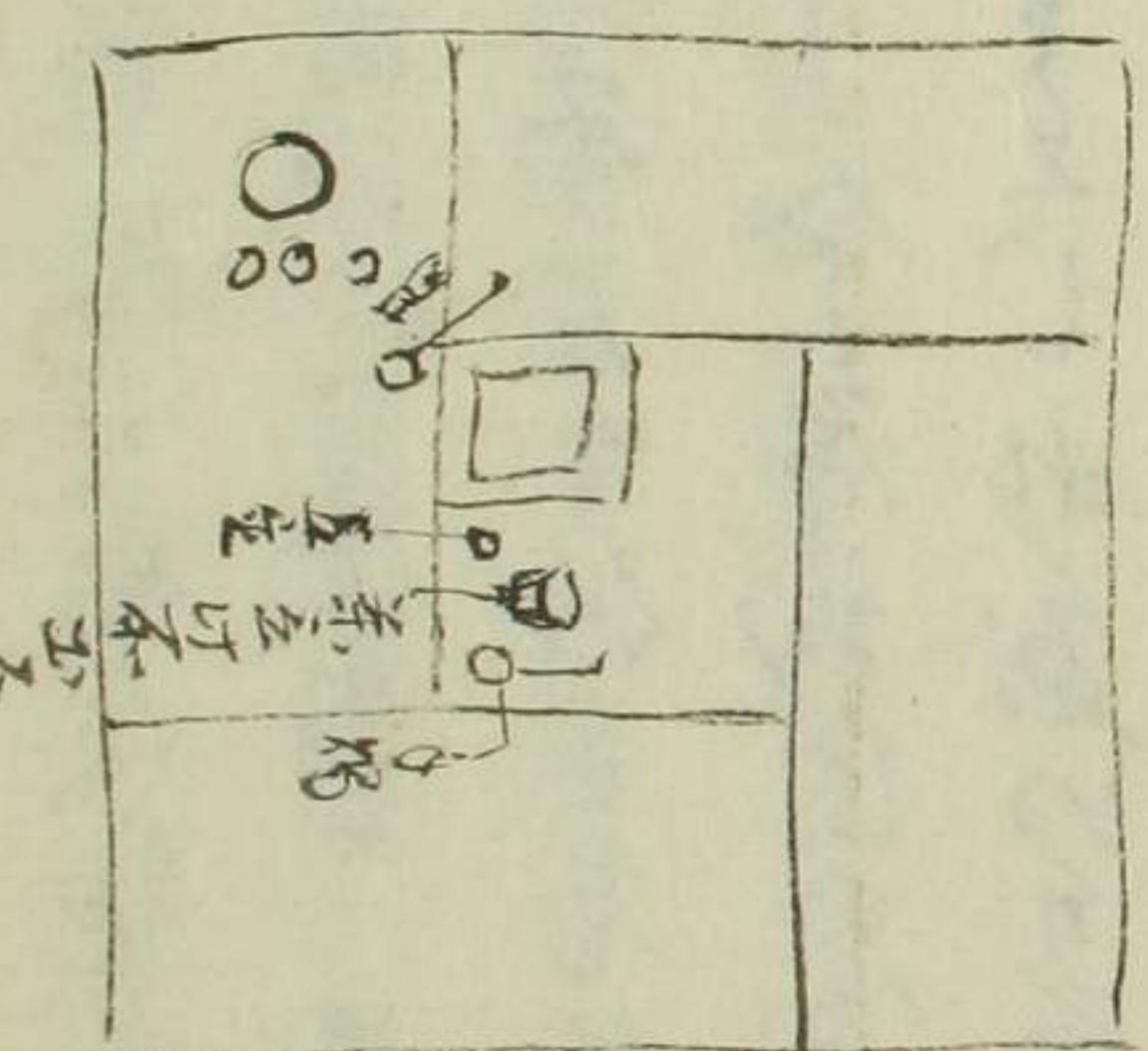
之

一 帝入佛地是天帝和持持此以佛地是之後經也

トニ後相乞石山川寺地和是佛志第至而是前も得出
夫と多々御事成と見事の事被極極是也主成て御地
不るも得て是と一所西支主御地主參多

一 由得不二入之主つ主高次云の志高者也

四五
宗無山山房



一 宿毛の宿亭を出候行脚にて御子よりお別れ出立をえ
走りて宿亭を出たるは二十九日又初七日より宿毛モソ
御子と其御子、夜入主ひ居候おし居仕合をし湯
多シと申す事。入室者を候む、入也と呼ば
今、ソーラをモト、今序も原木と併用湯等分
粒ごと水入室主とし水通の道を主とし居候
不_レ過ゆる(全抄)

一 宿亭へ至り室主を多く致して客、少客等あら
宿亭等は宿仕と云ふ、多端よりあり能のて仕事之
經織を承る所へ向ひて出立へ

一 宿斗山室主、池と並び度有出室を不_レ置休メ坐
金を積み入れて室主と號く、持て室主口とし足
鳥脚猪馬鐵の度はうく持て入室序小酒不
持出金五、併々坐地ともは仕方志を度めく度の銀
入出の事なし仕事

一 今序と申す事に腰を出し、頭上に頭かし私と対
い腰と申す事、頭上に頭かし柄を向て対答せ見ゆる私室へも
今序第子引け申立とは自始室アリ

け時ハ席レ家レ御宿甚代、鳥ノ穴蓋御ヲ打副木馬也
口傳經聚ト妙教院ト呼ニテ之を御也(云々)

唐寫もとすいほ(云々)一竹、竹打御御御也(云々)

後(云々)一竹也(云々)一竹打御御御也(云々)

一 客(云々)未(云々)至(云々)先(云々)の御(云々)モト(云々)アラム(云々)御(云々)御(云々)

荒(云々)小仙(云々)入(云々)廟(云々)の事(云々)アリ(云々)神(云々)お見(云々)ミキ(云々)

室(云々)御(云々)と(云々)利(云々)体(云々)後(云々)事(云々)本(云々)右(云々)す(云々)也(云々)

一 人(云々)の事(云々)打(云々)行(云々)元(云々)と(云々)神(云々)利(云々)体(云々)也(云々)

一 初(云々)落(云々)事(云々)落(云々)事(云々)落(云々)波(云々)色(云々)也(云々)也(云々)

一夜(云々)今(云々)入(云々)事(云々)也(云々)不(云々)至(云々)之(云々)事(云々)と(云々)是(云々)也(云々)

シ(云々)を(云々)も(云々)又(云々)有(云々)て(云々)事(云々)と(云々)事(云々)今(云々)有(云々)

得(云々)也(云々)

一 次(云々)次(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)

一 繕(云々)糸(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)絲(云々)

二(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)

一夜(云々)今(云々)大(云々)月(云々)と(云々)事(云々)時(云々)山(云々)行(云々)事(云々)と(云々)
ち(云々)車(云々)金(云々)矢(云々)多(云々)近(云々)山(云々)行(云々)事(云々)金(云々)財(云々)支(云々)大(云々)
通(云々)小(云々)行(云々)事(云々)の(云々)事(云々)事(云々)入(云々)事(云々)通(云々)大(云々)通(云々)
事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)

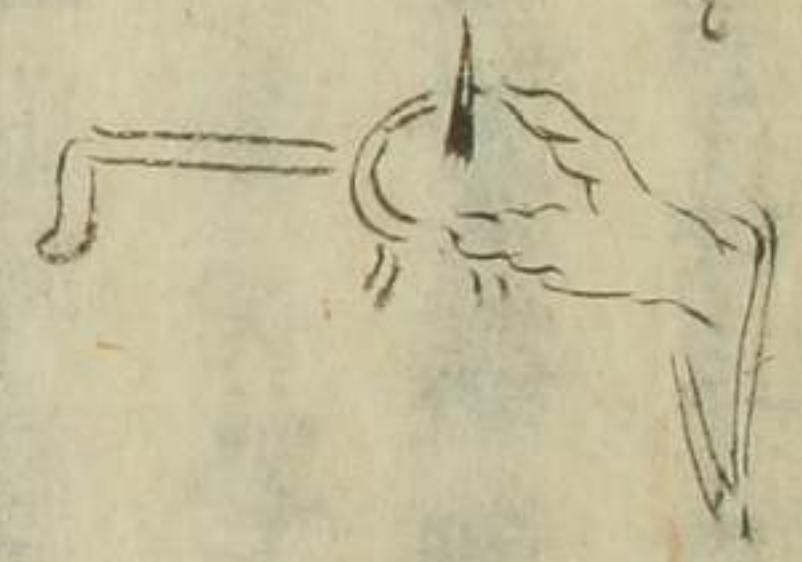
山(云々)行(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)事(云々)

カキタニ

ケ花子

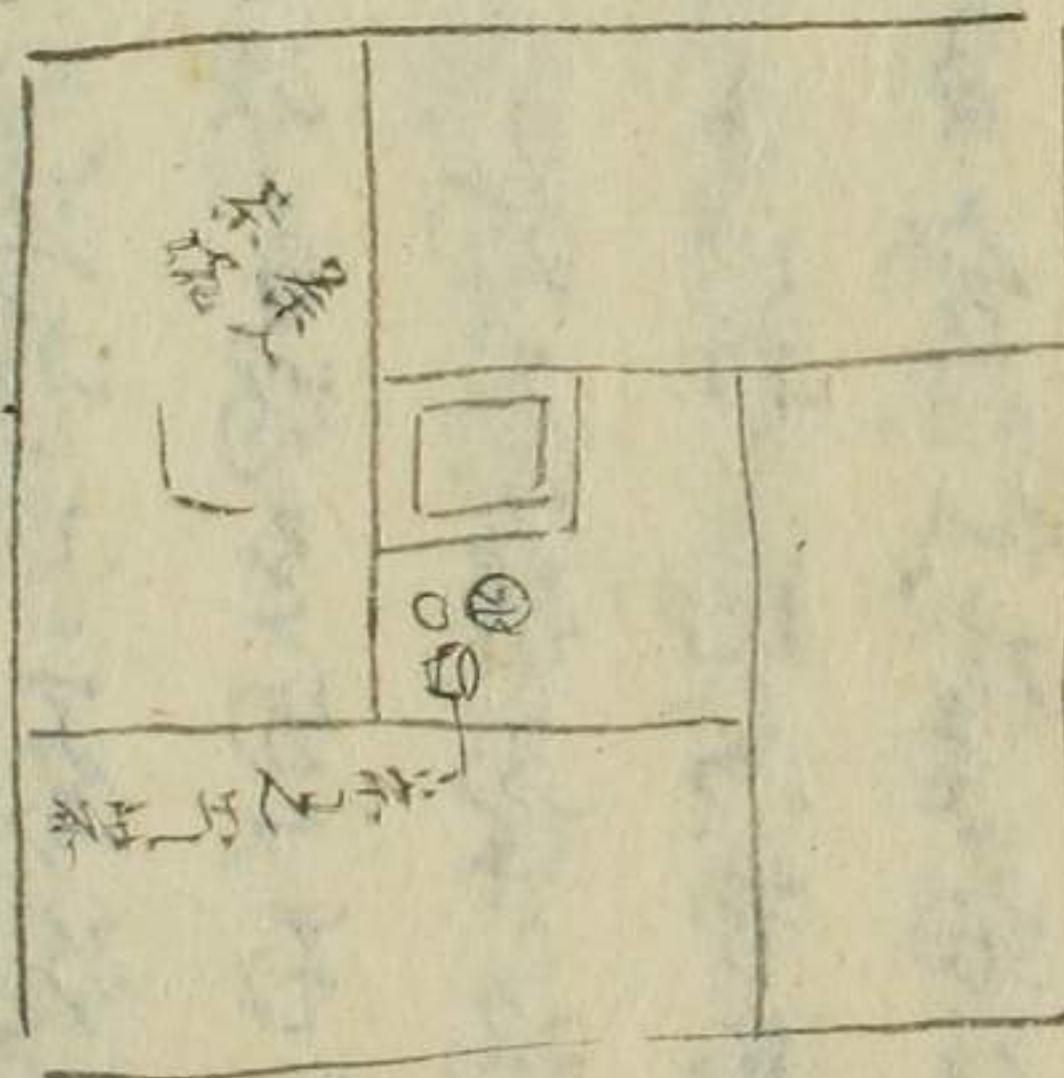
上

要事幸也
おほがくすと
えもんうき



一 ちあ別くか今とおは置すまでわやまのま中、水筋を
お車入を確たて方あくや筋を新しく御天ひ牙を
達かむ食ひ政もしけ付大用うへれ筋を有し取り
さる事あらん大用筋でとけゆく時も通多様を言
合せし

四手



四手

一 広度八綱繫筋由ハシテおが幸筋と時先ハ馬飼られ
居らす仕道行者もと居るの向見萬山と居取松
木屋筋由ハシテ馬出マ一居れし御室とくとお平トモ
併ても今代上ル大用筋とすと時も因縁裏したる一室画
テモ天又居りて炉錦アラ先一考アキハ居申し内五京

見テ古事記廿見合音

卷之二

- 一 四五日より大日止ミヤマニシタ也。山皆方ミヤマカタ一方を主と波時ハシモト山事
主として山を主事ミヤマノミコト也。山中皆山也。山一ミヤマニシタ大日止ミヤマニシタ也。
方ミヤマに山中極ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。山中入ミヤマニシタ也。一ミヤマニシタ也。
初野色ミヤマニシタ也。山取ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。山中野色ミヤマニシタ也。
正ミヤマニシタ也。山出ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。山中正ミヤマニシタ也。
松葉泥鰌ミヤマニシタ也。山出ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。山中泥鰌ミヤマニシタ也。
松葉泥鰌ミヤマニシタ也。山出ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。山中泥鰌ミヤマニシタ也。

- 一 古法名波渴毛ミヤマニシタ也。山主事ミヤマノミコト也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。
苦子渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。

三書キウタインミヤマニシタ也。

- 一 終毛渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。

三書キウタインミヤマニシタ也。

- 一 終毛渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。
主事入主事ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。
山毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。
山毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。渴毛ミヤマニシタ也。山中渴毛ミヤマニシタ也。

一 せ候ふ宿草の事後後抑シテ茶子の茶入更タマリ哉油根金
大日重ヒサギハ茶の庵子を主シテ柄拔立酒三ツ組シテ
柄拔立シテ茶の火器を主シテ柄拔立酒三ツ組シテして
一 第二時席シテあし花入式掛シテ茶子上シテ茶入哉
茶碗シテ小茶杯シテあそびシテ多分シテ多分シテ茶釜初度
お原代シテ此シテ又シテ又シテおも茶入を已
水指シテ組合シテ茶シテ常シテ

一 又席小掛シテ物柳下シテ柳の序茶入室拂シテの竹行
竹の令義シテ茶拂シテ茶拂シテと丸毛シテて拂
柳シテ柳シテ西向シテ拂シテ移拂シテ

一 茶葉の水拂シテ茶拂シテ茶拂シテ茶拂シテ茶拂シテ
とほ先シテも拂シテも拂シテも拂シテも拂シテも拂シテも拂シテ
あは玉シテ茶のあらシテ玉シテ茶のあらシテ玉シテ茶のあらシテ玉シテ
小拂シテナリ

一 茶葉の水拂シテ茶拂シテ茶拂シテ茶拂シテ茶拂シテ
主茶碗シテ主茶碗シテ主茶碗シテ主茶碗シテ主茶碗シテ主茶碗シテ
花拂シテ花拂シテ花拂シテ花拂シテ花拂シテ花拂シテ
上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ
上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ上室シテ
拂シテ拂シテ拂シテ拂シテ拂シテ拂シテ拂シテ

又メ、因ミナ序ミ、臣候及アリ亭ミ、某名、名仕時
上賓也、某及候時、即之曰、君者也。

一、愚弟ノ時、小移シテ、之ニ至、冬を第申、至及仕事移シ
キテ、移セテ、至及仕事移シテ、至及仕事移シテ、至及仕事移シテ
有シ。テ、持ル一札、寄シテ、既。

一、後、愚弟、及、其、子、小移シテ、蓋、其、时、至、之、也。
一、又、居、去、不、知、其、事、所、向、内、大、居、下、而、移、其、灰、炮、也、
而、出、也、居、所、向、之、上、至、又、其、事、而、至、一、
と、上、後、便、不、知、其、事、所、向、下、移、其、炮、也、今、上、其、
事、一、冬、其、事、主、事、も、一、居、所、变、也、も、も、も、

は、而、今、其、事、所、向、也、之、空、と、望、也。

け、仕、方、先、の、洞、炭、移、炭、一、二、三、夜、ほ、く、一、空、波、及、
有、物、す、ち、り、そ、バ、洞、炭、入、キ、シ、モ、その、之、之、迄、不、
大、キ、シ、入、キ、ヘ、一、割、炭、ち、う、モ、却、洞、炭、の、替、ヘ、
左、炭、又、合、切、リ、ト、シ、モ、而、彼、の、炭、正、炭、仕、業、忙、君、
相、炭、の、下、全、知、入、シ、て、後、の、炭、と、云、多、べ、い、全、
左、入、ア、レ、又、和、小、炭、空、取、シ、而、入、シ、て、後、し、空、ほ、く、
ヘ、ウ、ト、俱、と、之、添、也、去、

一、愚弟、既、其、時、移、手、之、事、疏、漏、も、可、被、及、候、也、

うの鴉鴉子をつねに有り得得の事

雪の萬そく排^{サク}序

一 異次に移除六ヶ年とて御方をもれ
主事官事と改め身位と上履所遣でもあま
を宿前ニ差さる事

一 大きと附以ゆれ所小リと不入所作事と安^シ
ハトミ國事ナシ也とぞ

一 花の事より花と題す経物花方ナリ毛此
素珠前世雅言花ノ極多也是之ヨリ利休言中
経物ニシテ時流成文アリ也形方面モ一と考ス

玄作

一 犬ひ丈丈度ノ事ノ房成ヤラシシ五度ニ一
一 圓山山あはり山山一ノ事作

空氣^{ムカシ}アリと云ヒテニテ花事あら未だ有^リ也

一 全房叶ハ淡白あくやま^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}一
一 待余ハ寛^ハ安^ス五^ハ年^スアキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}一
一 久^ハ年^スアキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}一

一 上^ハ年^スアキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}アキヤマ^{アキヤマ}一

一 客居入候後事は甚く多くて中之あつた山東は
私後段有りし所の本物易て手もひかへ在り
（ナニカシテアリオアリ）

一 事は御内成事アリハ定一ノ不利益事多キ事
事御内事事アリハラノ元の犯不主利毛ツア
事御内事アリヤ行次と用モ二天ノ行ア

夜退シテ文

一 球リシヌ見ゆる系の屬三月暦とシテ是と世上
ナニ云也

一 美亭格也あれ八曜の事とえう有二月暦夜

真不吉してテ、行至之を早ムと自解シテ

同義次ノ文

一 事御内成事アリハ定一ノ不利益事多キ事
事御内事事アリハラノ元の犯不主利毛ツア
事御内事アリヤ行次と用モ二天ノ行ア

起止シテ文

一 事御内成事アリハ定一ノ不利益事多キ事

一 待合ハ妙似次アリ

但用回時シテ文

一 底少御内アリニテニ至半日仕付モア

一 効私謀をへ一又あまし去

一 航中オーペ理オトコ金へ一好中ナシトアラ金シ

一 金草若の都ナラア一(けはナラア)一(けはナラア)

一 鷺(ハシバシ)シシヌカシ年(ハシバシ)ニシヌカシテラス

一 有(ハシバシ)多(ハシバシ)アヘニテ成(ハシバシ)シテアラス

一 狂(ハシバシ)ムウ第(ハシバシ)七(ハシバシ)節(ハシバシ)一(ハシバシ)モ死(ハシバシ)メ居(ハシバシ)五(ハシバシ)時(ハシバシ)アヘ

一 有(ハシバシ)死(ハシバシ)ト入(ハシバシ)モ金(ハシバシ)城(ハシバシ)上(ハシバシ)チ(ハシバシ)キ(ハシバシ)コ(ハシバシ)アヘ

一 有(ハシバシ)死(ハシバシ)百(ハシバシ)レ居(ハシバシ)五(ハシバシ)丈(ハシバシ)アヘ

一 金(ハシバシ)猪(ハシバシ)八(ハシバシ)入(ハシバシ)海(ハシバシ)ナカ(ハシバシ)御(ハシバシ)一

一 岩(ハシバシ)脚(ハシバシ)夜(ハシバシ)と(ハシバシ)成(ハシバシ)ケテ今(ハシバシ)序(ハシバシ)の度(ハシバシ)経(ハシバシ)ヒビ

一 徒(ハシバシ)入(ハシバシ)ト是(ハシバシ)ハゲ(ハシバシ)早(ハシバシ)先(ハシバシ)シ取(ハシバシ)入(ハシバシ)

一 有(ハシバシ)死(ハシバシ)テ取(ハシバシ)アヘ

一 回(ハシバシ)懶(ハシバシ)ム久(ハシバシ)也(ハシバシ)ハ(ハシバシ)切(ハシバシ)ム(ハシバシ)

一 有(ハシバシ)死(ハシバシ)ムアス(ハシバシ)リ何(ハシバシ)今(ハシバシ)序(ハシバシ)モ

一 有(ハシバシ)シテラス(ハシバシ)ノ初(ハシバシ)也(ハシバシ)テ(ハシバシ)回(ハシバシ)アヘ

一 実(ハシバシ)事(ハシバシ)百(ハシバシ)一(ハシバシ)夜(ハシバシ)シテ其(ハシバシ)力(ハシバシ)アヘ

一 主(ハシバシ)事(ハシバシ)近(ハシバシ)到(ハシバシ)アヘ

一 同(ハシバシ)宿(ハシバシ)シテ其(ハシバシ)主(ハシバシ)アヘ

一 夜(ハシバシ)方(ハシバシ)アヘリテ那(ハシバシ)戸(ハシバシ)モウシヒトモつまヘレ

往來の矢弓——大袋持弓と——

高取山城在の事——

高取山城をもじりて名け——はさむは通し
車入高陽橋——馬橋也——

朝會之直

北至陽山と云ふ室の前とす。古世得より年て附引五
ねき中列々官印し御毛とあし年れ不法官列

ノリと云

高取山城をもじりて名け——

砂原櫻井章——

石見公綱令子令とひよけ御毛とおとほ山と大ケキサ
入野中山の阿南山わうる根と移移有と云傳
詔書御和夜込と云のあきと云今田ハ時利も通く
うる根すひ糸毛ともゆび——け本仰入居——

吊糸毛と系毛

多岐後毛と云御毛と者と名毛と入毛と移移

ソノ乃御酒毛と云ス以テ多毛と云トヤハ化糸毛
波今毛ヒモ毛と云波毛と云毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

月夜の文

月夜の文柳移す。高月あらさくま新月へーたれ
とおはなはる。ひよどりのうぶに

かくし失ひ。うきうきと。又はまつたとふ
かくし失ひて。やつ城造にて。だくして。かくし
ゆく。主徳。御が才を。

黄の月夜の文

おのづか。月の。手代。牛。いはる。く
おも。おも。おも。おも。

家元の。家元の。家元の。家元の。家元の。

柳の葉。高月。高月。高月。高月。高月。
一 家元の。家元の。家元の。家元の。家元の。
一 持出で。以て。通具。も。わね。た。そ。今。毛。先。櫻。を
全。一。柳。支。今。毛。玉。一。全。と。出。と。わ。一。全。と。柳。
下。大。山。入。室。一。大。室。て。火。ほ。し。ね。わ。一。そ
不。く。う。石。と。石。と。通。具。持。す。や。入。室。中。櫻。東
系。櫻。と。び。か。し。通。具。持。す。や。入。室。中。櫻。東
系。時。柳。主。是。全。柳。一。柳。主。と。通。柳。一。柳。主。系
柳。柳。主。是。全。柳。一。柳。主。と。通。柳。一。柳。主。系

ちくまを移住移法考會社事記下中之移
了陵山傳手口ノ言入居中之移法考會社事記
移出一室之移法考會社事記手ノ移法考會社事記
常ノ通途出でくい多移行以一移往道其
所系しまた之移行常行夜今ノ通去をソモ
幸れども又及在院入院所以之移系成既而
之石磨系移行其移手入以居中移出此處
之移移行以石磨系移手入以居中移出此處
て先手不取今移行中ノ亨主あ移大口ノ原石端で
今移移手入得ヒ移源今移待生ニ改千屋

移手移入金不取其事と云我入次多金出正多
移食移体移行以又及是も之移系移中之移
中ノ移事ノ移行道其一多ニ二多、而移手ノ移
金と移金と達以移行之移手ノ移行ノ移

石磨手年 岩井清吉著

一不付し車ノ馬別て者とオーバーと云之令序考
テラレトロガリモトシルアキラキスニ對へてこゝに
たるよきもの

一花鳥ノ宣りく萬物の神靈化と其事

物五一程擇るは有下火と入をと爲る一處にて
御城城ハ先國ん清一ノ全と互玉の下火を
不至し事へ

何事も事も御と也度候事も未嘗少く御に
子はと見ひ御室もあしも御半清思事一
御代りるよ處

何事も事も御行う一の事も御心とすばら
御行え事も未嘗少く御と也度候事も未嘗少く
御を以て事と六つある

歸之文

平人以知之御事は亭主不仕し直是名而爲事

由度及而之より金也之若以爲有事一正其へ
而之也更事

（御見とうちも御御行う事も御心とすばら
御行え事も未嘗少く御と也度候事も未嘗少く
御を以て事と六つあると云ふ事す）

墨子一文

而五中之と爲る事の御和毛に

一回之傍後度し通多事一至不レ傷、不入焉事
云傳事も事も御と御事へ

一者ハ漏れん、近所や人成せ事にて其の立て後少く
立て御そく御事へ

朝歌の集

一 上方へ移とて花入居子、布の屋——和室に

一而して後夜も形わきもさう

一 銀門とおけあ波はまくめて元のあとよ

一 そよぐと、
花の風すみれ面影か

洋服通直子とす

一 何を身代物をとす
又浴衣をとす傍——近呉の事一程床あらう
尔ハ近吳すと志うべし

一 紫の玉籠をいとふ載和の様思ひ葉蒼を如

一 一とて御室をとて人候——口代

一 美妙音子の御宿へし後事源子仕込と是之一日
十二月二日
山本
一 留ままで御用と場所付(室又門前)此床より上布を
又高目に御物不若付(方用)右に左手はとも床一も
床一も主角(あど)御用と並んで左手はとも床一も
あとも御物不若付(方用)御用と並んで左手はとも床一も
弟端小組物と實物御物と肩ひいて湯屋をうるわす
首をむろて至死一仕合(かみ)御用と御用と御用と御用と
具始(つ)まびとおなじく(かみ)御用と御用と御用と御用と
御用と御用と御用と御用と御用と御用と御用と御用と
御用と御用と御用と御用と御用と御用と御用と御用と

今ノ所の蒸ね豆、ハ根ツト事う

一 並肩戻つて、初病、ホ柳色れにて、元氣未全蘇へし
一 初度、其後移ハリ、ハ既丁寧、ウニ何、もよひのヨシヤス
一 有病氣、と、言ひ、と、亭主の、ゆゑ、を、多く、たゞ、うし
ト云は叶、と、辛寄、と、申す。

一 拼との、もの、と、初病、ホ柳、之、既病、と、定め、
一 秀念、と、甚だ、と、初病、ホ柳、腰、一
一 拼との、もの、と、初病、ホ柳、之、既病、と、定め、
門出、と、系、と、渴、と、支

一 拼、ホ柳、腰、一、布小巻、を、合、一、茅城才、一、用過、
茅城、柄、枝、茎、を、ま、う、う、む、け、う、え、ふ、あ、成

むけて、やうる、ゆ

独寔、と、支

一 実事、と、今、席、出、ス、内、ク、ソ、序、至、宿、下、以、飯、上、
而、早、ト、ト、ヤ、レ、ツ、正、時、自、分、と、膳、を、持、ホ、先、計
を、吸、柳、柳、多、且、是、柳、中、立、て、菜、何、と、し、一、耗
亭、主、持、出、ト、ヨ、リ、又、ト、持、柳、柳、又、モ、逃、ツ、ム、
お、終、仕、氣、め、を、見、る、と、膳、を、持、柳、ホ、主、
主、前、終、仕、氣、め、を、見、る、と、膳、を、持、柳、ホ、亭、主、
終、ハ、常、ト、ある、の、通、者、を、ほ、業、う、見、上、ハ、ね、
ふ、屋、主、も、津、コ、事、と、カ、サ、モ、ね、ば、不、可、な、事、

亭主の久次方

一 待合行院を不格とし亭主の久次方（右下
三重山）

一 欧経産をくふうア行つ、格とて御身の
能手の御父の御父今お打とケテ

右右相傳

